

2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 岡崎商工会議所

| 事業名                               | 事業概要（背景・目的）   | 事業実績  | 主たる対象者           | 事業評価 |                                |      |      |      |                            |        |      |   |      | 備考 |         |            |      |       |     |    |     |     |  |
|-----------------------------------|---|---|------------------|------|--------------------------------|------|------|------|----------------------------|--------|------|---|------|----|---------|------------|------|-------|-----|----|-----|-----|--|
|                                   |   |   |                  | 目標①  |                                |      | 目標②  |      |                            | 得られた効果 |      | A B C D評価   |      |    |         | 今後の展開・改善点等 |      |       |     |    |     |     |  |
| 巡回・窓口相談指導事業                       | 管内事業者の大多数を占め、管内商工業の基盤をなす小規模事業者の経営基盤の安定強化を図るため、巡回及び窓口において相談・助言・指導を行う。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>巡回指導（実企業数 438社（内非会員 116社）（延べ件数 709件）（内非会員 172社））</li> <li>窓口相談（実企業数 932件（内非会員 173件）（延べ件数2,040件）（内非会員 302件））</li> <li>課題解決提案件数 115件</li> <li>経営革新計画承認 8件</li> </ul> | 小規模事業者           | 指標   | 巡回窓口指導延件数<br>(達成度 94.8 %)      |      |      | 指標   | 課題解決提案件数<br>(達成度 115.0 %)  |        |      | 巡回及び窓口での相談・助言・指導と各種支援施策の活用により、小規模事業者の経営基盤の安定強化が図られた。  | 総合評価 | A  | 事業実施評価の | 自己評価       | 調査結果 | 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 目標①については目標を達成できなかったため数値を下げるが、小規模事業者支援の柱となる事業であり、経営改善意欲のある企業を重点的に指導していく。        |
|                                   |   |   |                  | 目標数値 | 2900                           | 実績数値 | 2749 | 目標数値 | 100                        | 実績数値   | 115  |   |      |    |         | A          |      |       | A   |    | A   | A   |  |
| 記帳指導                              | 記帳は経営改善の前提であり、金融面・税制面の施策を受ける基礎となる。このため、記帳から決算・申告まで継続した指導を行い、自主記帳能力の向上を図る。また、記帳の合理化を図るため、記帳の機械化を推進する。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>記帳指導企業数 236事業所</li> <li>記帳指導日数 1,329日</li> <li>記帳指導回数 3,847回</li> </ul>  | 小規模事業者           | 指標   | 記帳継続・代行指導受講者数<br>(達成度 112.4 %) |      |      | 指標   | (達成度 %)                    |        |      | 自主記帳能力の向上と記帳の合理化が図られた。記帳をすることにより経営の改善だけでなく金融面・税制面の施策を受けることができた。                             | 総合評価 | A  | 事業実施評価の | 自己評価       | 調査結果 | 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 経営改善普及事業の柱となる事業で、記帳能力の向上を図るほか、経営改善にも資するため、引き続き実施していく。                          |
|                                   |   |   |                  | 目標数値 | 210                            | 実績数値 | 236  | 目標数値 |                            | 実績数値   |      |   |      |    |         | A          |      |       | A   |    | A   | A   |  |
| 講習会事業                             | 管内事業者の大多数を占め、管内商工業の基盤をなす小規模事業者及び中小企業者の経営基盤の安定強化を図るため、個別あるいは集団を対象とした講習会を階層別、職能別、分野別に区分して幅広く開催する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>講習会開催回数及び受講者数</li> <li>集団 46回 参加者延 1,658人</li> <li>個別 259回 利用者延 1,171人</li> </ul>  | 小規模事業者等          | 指標   | 集団指導延参加者数<br>(達成度 186.3 %)     |      |      | 指標   | 個別指導延参加者数<br>(達成度 153.1 %) |        |      | 講習会を通じて、小規模事業者が経営に必要な知識を身に付け、経営基盤の安定強化を図ることができた。  | 総合評価 | A  | 事業実施評価の | 自己評価       | 調査結果 | 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 「3密」を避けることにより目標数値を下げるが、経営環境の変化に対応し企業への高い指導を行い、受講者等の満足度を高めるよう引き続き事業を実施していく。     |
|                                   |   |   |                  | 目標数値 | 890                            | 実績数値 | 1658 | 目標数値 | 765                        | 実績数値   | 1171 |   |      |    |         | A          |      |       | A   |    | A   | A   |  |
| 制度改正に伴う専門家派遣等事業（消費税軽減税率対策窓口相談等事業） | 消費税軽減税率制度導入に備え、事業者が混乱することなく準備し、消費税引き上げ分を円滑・適正に価格に転嫁できるように、相談窓口の設置やパンフレット等による周知、講習会の開催等の経営支援を行う。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>講習会開催回数及び受講者数</li> <li>集団 8回 参加者延233人</li> <li>個別 58回 利用者延257人</li> </ul>  | 小規模事業者等          | 指標   | 集団指導延参加者数<br>(達成度 116.5 %)     |      |      | 指標   | 個別指導延参加者数<br>(達成度 178.5 %) |        |      | 講習会、個別相談、パンフレット配布等の活動を通じて、消費税軽減税率制度の周知や事業所における導入準備・対策構築等を行うことができた。                          | 総合評価 | A  | 事業実施評価の | 自己評価       | 調査結果 | 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 消費税軽減税率制度導入・消費税引き上げが2019年10月に実施されたため事業を廃止する。                                   |
|                                   |   |   |                  | 目標数値 | 200                            | 実績数値 | 233  | 目標数値 | 144                        | 実績数値   | 257  |   |      |    |         | A          |      |       | A   |    | A   | A   |  |
| 若手後継者等育成事業（青年部事業）                 | 中小・小規模企業経営に携わる若手経営者・後継者等が自己研鑽・相互啓発活動等を通して、経営者としての人格や教養、経営能力の向上を図ることで、企業の持続的発展ひいては地域社会の発展に寄与する。また、会員相互の親睦を深め、青年部事業の円滑な遂行を図る。                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>研修会・講演会・視察会 12回 参加者延1,134人</li> <li>会議146回参加者延1,817人（上記事業参加人数延2,951人）</li> <li>催事 3回 参加者延249人</li> </ul>   | 若手経営者・後継者等       | 指標   | 事業参加延人数<br>(達成度 123.0 %)       |      |      | 指標   | 催事事業参加延人数<br>(達成度 124.5 %) |        |      | 自己研鑽や相互啓発活動を通じて若手経営者等が知識や知恵を習得し、企業の持続的発展、ひいては地域社会の発展に寄与した。また、若手経営者・後継者等の相互の交流と連携を深めることができた。 | 総合評価 | A  | 事業実施評価の | 自己評価       | 調査結果 | 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 回数や出席者数のみではなく、参加者が満足できるように内容重視で実施していく。催事については、青年部会員が主体となって運営していただくため目標②を廃止する。  |
|                                   |   |   |                  | 目標数値 | 2400                           | 実績数値 | 2951 | 目標数値 | 200                        | 実績数値   | 249  |   |      |    |         | A          |      |       | A   |    | A   | A   |  |
| 若手後継者等育成事業（女性部事業）                 | 中小・小規模企業経営に携わる女性経営者の研鑽・啓発活動等を通して、経営者としての資質や能力の向上を図ることにより、地域経済の発展に資することを目的とする。また、会員相互の親睦を深め、女性部事業の円滑な遂行を図る。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>研修会・講演会・視察会8回</li> <li>地域活性化活動 2回</li> <li>会議 41回（上記事業参加人数延1,039人）</li> <li>催事 1回 参加者92人</li> </ul>  | 女性経営者等           | 指標   | 事業参加延人数<br>(達成度 138.5 %)       |      |      | 指標   | 催事事業参加延人数<br>(達成度 68.1 %)  |        |      | 自己研鑽や相互啓発活動を通じて若手経営者等が知識や知恵を習得し、企業の持続的発展、ひいては地域社会の発展に寄与した。また、若手経営者・後継者等の相互の交流と連携を深めることができた。 | 総合評価 | A  | 事業実施評価の | 自己評価       | 調査結果 | 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 回数や出席者数のみではなく、参加者が満足できるように内容重視で実施していく。催事については、女性部会員が主体となって運営していただくため目標②を廃止する。  |
|                                   |   |   |                  | 目標数値 | 750                            | 実績数値 | 1039 | 目標数値 | 135                        | 実績数値   | 92   |   |      |    |         | A          |      |       | A   |    | A   | A   |  |
| 経営安定特別相談事業                        | 中小企業の経営が悪化して、連鎖倒産の危機に直面した場合や大型倒産あるいは突発的災害が発生した場合には緊急対策相談を行い、中小企業者の倒産を未然に防止する。   | <ul style="list-style-type: none"> <li>特別相談（4件）</li> <li>緊急対策相談（0回）</li> </ul>  | 小規模事業者           | 指標   | 特別相談件数<br>(達成度 200.0 %)        |      |      | 指標   | (達成度 %)                    |        |      | 特別相談を実施することにより、中小企業者の資金繰りの安定化・企業再建を図り、倒産を未然に防ぐことができた。                                       | 総合評価 | A  | 事業実施評価の | 自己評価       | 調査結果 | 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 中小企業の連鎖倒産等の危機に直面することも想定し、引き続き事業を実施していく。  |
|                                   |   |   |                  | 目標数値 | 2                              | 実績数値 | 4    | 目標数値 |                            | 実績数値   |      |   |      |    |         | A          |      |       | A   |    | A   | A   |  |
| 労働保険事業（労働保険事務組合・建設業一人親方労災組合事業）    | 事業主に代わって各種届出等労働保険の事務を処理することで中小企業事業主の事務負担を軽減するとともに、労働保険の適用促進及び各種制度の推進を図る。また、建設の事業に携わる一人親方においては、特別加入団体を設置して、特別加入制度への加入促進を図ることにより不慮の災害による生活不安の低減を図る。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>中小事業主の労働保険事務の代行委託事業場数：362事業場</li> <li>建設業一人親方の労働保険事務 団体構成員数：186人</li> </ul>  | 中小・小規模事業者        | 指標   | 委託事業場数・団体構成員数<br>(達成度 121.8 %) |      |      | 指標   | (達成度 %)                    |        |      | 事業主の事務負担を大幅に削減する一方で労働保険制度を有効に活用できた。建設業一人親方の特別加入が容易にできるようにした。                                | 総合評価 | A  | 事業実施評価の | 自己評価       | 調査結果 | 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 事業主の事務負担と一人親方の生活不安の軽減のため、引き続き事業を実施していく。  |
|                                   |   |   |                  | 目標数値 | 450                            | 実績数値 | 548  | 目標数値 |                            | 実績数値   |      |   |      |    |         | A          |      |       | A   |    | A   | A   |  |
| 人材育成事業（検定等支援事業）                   | 企業が厳しい経営環境に対応し、成長するには、競争力の源である人材の育成が重要である。そこで、企業の生産性を上げるビジネススキルが身につく各種検定試験等を実施して企業の教育訓練を支援し、企業の成長力につなげる。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>各種検定の実施（172回）</li> <li>延受験者数（2,267人）</li> </ul>  | 中小・小規模企業事業主・従業員等 | 指標   | 延受験者数<br>(達成度 98.6 %)          |      |      | 指標   | (達成度 %)                    |        |      | 受験勉強・受験を通じた個々の能力の向上により、業務の効率化や生産性の向上が図られ、企業の成長につなげることができた。                                  | 総合評価 | B  | 事業実施評価の | 自己評価       | 調査結果 | 事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標② | 需要の少ない検定試験を開催しないようにするため目標①を下げるが、企業経営の基盤である人材の育成に役立つ事業であるため、必要な検定試験は引き続き実施していく。 |
|                                   |   |   |                  | 目標数値 | 2300                           | 実績数値 | 2267 | 目標数値 |                            | 実績数値   |      |   |      |    |         | A          |      |       | A   |    | A   | A   |  |



2019年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 岡崎商工会議所

| 事業名                    | 事業概要（背景・目的）   | 事業実績   | 主たる対象者                              | 事業評価 |                                  |      |      |      |                              |        |      |   |           | 備考                                       |      |                      |     |    |      |       |   |
|------------------------|---|--|-------------------------------------|------|----------------------------------|------|------|------|------------------------------|--------|------|---|-----------|--|------|----------------------|-----|----|------|-------|---|
|                        |   |  |                                     | 目標①  |                                  |      | 目標②  |      |                              | 得られた効果 |      | A B C D評価   |           |  |      | 今後の展開・改善点等           |     |    |      |       |   |
| 調査・広報事業<br>（各種調査事業）    | 管内中小企業等の景気動向などを総合的に調査することにより、今後の中小企業施策ならびに経営指導の参考にするとともに、中小企業に対し経営情報として提供する。  | 中小企業景況調査(4回)回答率100%。LOB調査(12回)。大型店販売動向調査(0回)。岡崎市内景況調査(0回)。また、機関紙である会報等によって、マル経はじめ融資制度や経営改善に資する各種情報を提供した。年12回発行                         | 小規模事業者<br>始め市内の<br>小企業者等            | 指標   | 中小企業景況調査の回答率(%)<br>(達成度 100.0 %) |      |      | 指標   | 大型店販売同行調査実施回数<br>(達成度 0.0 %) |        |      | 地域の中小企業の経営状況を捉えることにより、経営指導の参考にすることができた。また、本所の経営改善事業活動のほか、行政への要望活動の参考にも利用した。また、各種施策をPRすることで利用促進を図り、経営の安定・改善につながった。 | 総合評価<br>B | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>側<br>面<br>の<br>評価 | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への<br>必要性 | 満足度 | 補足 | 目標①  | 目標②   | 大型店販売動向調査については、調査先の都合等により急遽調査を終了。中小企業景況調査は経営指導の参考になるとともに、企業の経営にも役立つため、引き続き事業を実施していく。        |
|                        |   |  |                                     | 目標数値 | 100                              | 実績数値 | 100  | 目標数値 | 12                           | 実績数値   | 0    |   |           |  | A    |                      | B   |    | 現状維持 | 廃止    |   |
| 商工業振興事業<br>（ものづくり推進事業） | 中小の製造業では技術力向上と販路開拓が経営改善の重要なポイントになる。それを実行するためには、社員の技能・技術の向上、生産現場の改善、新製品開発、新たな生産方法等の取組を行って競争力の強化を図る事業を実施し、中小製造業の活性化を図る。           | ①技術・販路等課題解決支援：延658社②ものづくり情報提供：延784社③ものづくりネットワーク：延188社④ものづくりフォーラム：延272社⑤岡崎の伝統産業を観光客に紹介する「城下町わが工房たくみ庵」の実施（桜まつり・藤まつり他14日間 来場者数3,108人）     | 小規模事業者<br>等                         | 指標   | 利用延企業数<br>(達成度 290.4 %)          |      |      | 指標   | 来場者数<br>(達成度 155.4 %)        |        |      | 社員の技能・技術向上、生産現場の改善などにより中小製造業の競争力強化を図ることができた。  | 総合評価<br>A | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>側<br>面<br>の<br>評価 | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への<br>必要性 | 満足度 | 補足 | 目標①  | 目標②   | 製造業のニーズを把握し、製造業のためになる事業を継続して実施する。   |
|                        |   |  |                                     | 目標数値 | 655                              | 実績数値 | 1902 | 目標数値 | 2000                         | 実績数値   | 3108 |   |           |  | A    |                      | A   |    | 現状維持 | 現行どおり |   |
| 商談会事業                  | 先行きが不透明な経済情勢の中、売上・利益を確保するためには各事業者が新たな受注の仕組みを構築する必要がある。このため、ビジネスの関わる幅広いビジネスマッチング事業を実施し、岡崎市内の事業所の活性化を図る。                          | ・アライアンス・パートナー発掘市2019（エントリー企業16社）<br>・会議担当プロジェクト（エントリー企業20社）  | 小規模事業者<br>等                         | 指標   | エントリー企業数<br>(達成度 90.0 %)         |      |      | 指標   | (達成度 %)                      |        |      | 今まで付き合いのなかった企業との出会いと商談のチャンスが得られ、販路開拓・受注増につながった。   | 総合評価<br>B | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>側<br>面<br>の<br>評価 | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への<br>必要性 | 満足度 | 補足 | 目標①  | 目標②   | 販路開拓に有効な事業のため、新たな参加企業を呼びかける。  |
|                        |   |  |                                     | 目標数値 | 40                               | 実績数値 | 36   | 目標数値 |                              | 実績数値   |      |   |           |  | B    |                      | A   |    | 現状維持 | 実施方法① |   |
| 商店街・まちづくり事業            | 1. 厳しい状況にある小規模店の現状を打破すべく、魅力あるまちづくり・個店づくりを推進する。<br>2. 中心市街地における賑わいを創出する事業を推進することにより、全体的な地域活性化を図る。                                | ・商店街活性化事業（中心市街地商店街イベント参加店数41店）<br>・JR岡崎駅前地区活性化イベント参加店数38店<br>・地産地消事業（セレクション登録店数27社）  | 主に商店街等の<br>商業・サービス業の<br>小規模事業者      | 指標   | 主要事業の参加店数<br>(達成度 141.3 %)       |      |      | 指標   | (達成度 %)                      |        |      | 商店街すごろく事業やまちゼミ事業に取り組むことで、自店への集客を考えるヒントを与え、また今後のまちづくりに対する意識付けをすることができた。  | 総合評価<br>A | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>側<br>面<br>の<br>評価 | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への<br>必要性 | 満足度 | 補足 | 目標①  | 目標②   | JR岡崎駅前地区活性化イベントが今年度で終了したため目標①を下げるが、今後も継続的に魅力ある店づくり、まちづくりを目指した活動を積極的に推進する。                   |
|                        |   |  |                                     | 目標数値 | 75                               | 実績数値 | 106  | 目標数値 |                              | 実績数値   |      |   |           |  | A    |                      | A   |    | 下げる  | 実施方法① |   |
| 観光振興事業                 | 岡崎生誕の徳川家康公や八丁味噌、石工業に代表される伝統産業などの岡崎固有の地域観光資源に光を当て、観光まちづくりを推進することにより、地域の賑わい創出を図る。   | ・岡崎特産品みやげ品コーナーの設置箇所(8ヶ所)<br>・家康セミナーの実施（実施回数5回、受講者数99人）<br>・新・家康公検定（1回受験者628人）  | 観光関連事業者<br>及び伝統産業・地場産業<br>関連事業者     | 指標   | 実施開催数<br>(達成度 85.7 %)            |      |      | 指標   | (達成度 %)                      |        |      | 全国からの受験合格者に、地元産物・店舗等の特典一覧を配布するなど、知名度の向上と来店者の増加に効果があった。  | 総合評価<br>A | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>側<br>面<br>の<br>評価 | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への<br>必要性 | 満足度 | 補足 | 目標①  | 目標②   | 家康公セミナー、新・家康公検定の主催が別機関になったため目標①を下げるが、知名度向上に向け、PR等に努める。                                      |
|                        |   |  |                                     | 目標数値 | 7                                | 実績数値 | 6    | 目標数値 |                              | 実績数値   |      |   |           |  | B    |                      | A   |    | 下げる  | 実施方法① |   |
| 産業団体等支援・指導事業           | 中小・小規模企業で構成する諸団体の事業活動に対して助言・支援活動を行うことで、地域に根ざす団体の再活性化を図り、もって地域経済の活性化に資する。  | ・出会いの駅おかさぎ推進協議会（理事会2回30人、総会75人）<br>・三河中央エリア経済会議（事務局会議1回9人）<br>・GON会議（会議回数10回82人）<br>・おかさぎ匠の会（勉強会開催10回281人）<br>・岡崎ものづくり推進協議会（会議回数1回39人） | 左記各団体を<br>構成する小規模<br>事業者            | 指標   | 参加延人数<br>(達成度 112.2 %)           |      |      | 指標   | (達成度 %)                      |        |      | 地域に根ざす団体の活性化を支援することで、地域経済の活性化に資することができた。  | 総合評価<br>A | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>側<br>面<br>の<br>評価 | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への<br>必要性 | 満足度 | 補足 | 目標①  | 目標②   | 出会いの駅おかさぎ推進協議会の運営が別機関になったため目標①を下げるが、今後も地域経済の活性化に資するため、中小・小規模企業で構成する諸団体事業について助言・支援活動を積極的に行う。 |
|                        |   |  |                                     | 目標数値 | 460                              | 実績数値 | 516  | 目標数値 |                              | 実績数値   |      |   |           |  | A    |                      | A   |    | 下げる  | 実施方法① |   |
| 雇用促進事業                 | 事業所の継続・繁栄には優秀な人材の確保が重要である。そこで、求職者に対し、企業活動や採用情報を具体的に継続的に発信し、事業所の採用活動をサポートする。   | ・人材確保事業 登録企業数196社<br>・合同企業説明会 7回   | 小規模事業者等<br>・大学・短期大学・専門学校等の学生及び一般求職者 | 指標   | 登録企業数<br>(達成度 98.0 %)            |      |      | 指標   | (達成度 %)                      |        |      | 人材の採用を希望する企業の各種情報の発信と合同企業説明会の開催により、求職者と企業のマッチングを図ることができた。   | 総合評価<br>B | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>側<br>面<br>の<br>評価 | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への<br>必要性 | 満足度 | 補足 | 目標①  | 目標②   | 現行の実施内容の充実を図って、学生・求職者の企業に対する理解を深めるとともに、企業の採用活動へのサポートを強化する。                                  |
|                        |   |  |                                     | 目標数値 | 200                              | 実績数値 | 196  | 目標数値 |                              | 実績数値   |      |   |           |  | B    |                      | A   |    | 現状維持 | 実施方法① |   |
| 部会事業                   | 経営課題には、業種毎に特有なものがあり、その解決には、業種毎の取組が有効である。業種毎の研修会、説明会、講演会、視察、交流等を行うことにより、各業種の適切な改善を図る。  | ①商業部会②食品・サービス部会③情報文化部会④工業部会⑤建設部会⑥機械金属部会⑦交通部会⑧理財部会。8部会合計例会延参加者数2,168人   | 小規模事業者<br>等                         | 指標   | 例会参加者数<br>(達成度 108.4 %)          |      |      | 指標   | (達成度 %)                      |        |      | 各業種における経営課題に対し、適切な解決が図られたほか、交流によるネットワークづくりができた。   | 総合評価<br>A | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>側<br>面<br>の<br>評価 | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への<br>必要性 | 満足度 | 補足 | 目標①  | 目標②   | 小規模事業者の経営力向上と業界の経営課題の解決に効果のある事業であるため、今後も積極的に実施していく。   |
|                        |   |  |                                     | 目標数値 | 2000                             | 実績数値 | 2168 | 目標数値 |                              | 実績数値   |      |   |           |  | A    |                      | B   |    | 現状維持 | 実施方法① |   |
| 委員会事業                  | 経営支援を効果的に行うためには、経営支援の事業を企業ニーズに合わせる必要がある。そのため、企業が主体となって、経営支援のための事業企画を行うほか、行政へ中小企業施策の意見・要望を行い、経営支援事業の充実を通して小規模企業者の経営基盤の安定強化につなげる。 | ①運営委員会②企画政策委員会③ものづくり委員会④まちづくり委員会⑤徳川家康公顕彰事業。5委員会合計延出席者数128人   | 小規模事業者<br>等                         | 指標   | 委員会参加者数<br>(達成度 256.0 %)         |      |      | 指標   | (達成度 %)                      |        |      | 企業ニーズに合った経営支援の事業計画を行い、その実施により経営基盤の安定強化が図られた。また、行政への意見・要望の結果、中小企業施策等の充実を図ることができた。                                  | 総合評価<br>A | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>側<br>面<br>の<br>評価 | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への<br>必要性 | 満足度 | 補足 | 目標   | 目標②   | 委員会数を減らすため目標①を下げるが、小規模事業者の経営基盤の安定強化につながる重要な活動であるため、引き続き実施していく。                              |
|                        |   |  |                                     | 目標数値 | 50                               | 実績数値 | 128  | 目標数値 |                              | 実績数値   |      |   |           |  | A    |                      | B   |    | 下げる  | 実施方法  |   |
| 福利厚生事業                 | 経営と雇用の持続的な安定のため、共済制度の普及・拡大による福利厚生の充実を図り、企業の健全な育成に資する。   | ・団体保険共済加入事業所数1,070社<br>・従業員退職金共済加入事業所数 310社  | 中小・小規模<br>事業者                       | 指標   | 団体保険共済加入事業所数<br>(達成度 95.5 %)     |      |      | 指標   | (達成度 %)                      |        |      | 共済制度の普及・拡大により、事業主への保障と従業員の福利厚生の充実・向上を図ることができた。  | 総合評価<br>A | 事業<br>実施<br>評価<br>の<br>側<br>面<br>の<br>評価 | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への<br>必要性 | 満足度 | 補足 | 目標   | 目標②   | 企業の福利厚生の充実にも大きく寄与するものであるため、引き続き実施していく。  |
|                        |   |  |                                     | 目標数値 | 1120                             | 実績数値 | 1070 | 目標数値 |                              | 実績数値   |      |   |           |  | B    |                      | A   |    | 現状維持 | 実施方法  |   |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。